

# ごんた坂

第21号



(光陵高校同窓会会報)

〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト

## 目次

## 光陵高校 50周年記念式典

平成28年度総会懇親会のご案内 (特別講演 8期 坪谷ニューエル郁子氏) ……	2
50周年記念事業の報告と記念誌のご案内 ……	3
50周年記念式典・祝賀会 ……	4
平成27年度総会 議事報告 ……	6
学校近況報告(合格状況・部活動実績・教職員異動) ……	7
光陵会からのお知らせ・卒業生からの便り ……	8



## 光陵50周年に広がる夢

会長 太田 秀和 (2期)



母校光陵高校創立50周年の式典が神奈川県民ホール、祝賀会がホテルニューグランドで開催されました。1期生の皆さんも駆けつけてくださり、1期生から50期生まで「襷」が繋がったと実感しました。来賓席の筆頭に神奈川県副知事の2期黒川雅夫さんが座っていたことも、たいへんうれしいことでした。

オランダのロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の第一首席ソロ・ヴィオラ奏者として活躍されている5期の波木井賢さん、そしてソリストとしてカーネギーホール、ウィーン楽友協会をはじめ、欧米各地で活躍されているヴァイオリン奏者の奥さま、菊地裕美さんが、光陵の現役生徒の弦楽部とジョイントした弦楽合奏「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、素敵でした。光陵の創設期、卒業式はしばらく音楽テープで進行していました。吹奏楽部が誕生し、卒業式で初めて演奏を聴いた時以来の音楽的感動でした。

波木井さんは祝賀会でもサプライズで登壇し、応援歌を演奏してくださいました。その応援歌を出席者全員が歌いました。それはそれは楽しい時間と空間で、皆さんとの一体感を心から味わうことができました。

運営にあたっては、PTAの皆さんと光陵会のスタッフとのコラボもすばらしく、まさしく一丸となって迎えた50周年イベントでした。実行委員会の皆さま、そして50周年事業に関わったすべての方々へ感謝申し上げます。

若い皆さんに。光陵も皆さんと同じまだまだ若い学校です。皆さんのご活躍がまさに光陵の歴史をつくります。次は100周年にむけて益々精進していただいて、いろいろな分野で活躍していただきたいと思えます。学業はもちろんですが、広い意味での「学芸」「スポーツ」に秀でていただきたいと思えます。さらに磨きのかかった「文武両道の光陵」として、新しい伝統をつくっていただけたら幸いです。

最後に一桁代の期の卒業生の皆さんに。私たちはこれから比較的自由な時間をもてる年齢になります。光陵にとっても、卒業生にとっても、プラスになるような光陵訪問システムをともに考えていきませんか？例えば、お昼のお弁当を食べる時間をコアタイムとして、その日は10時から15時頃までの時間帯に自由に集まり、ご自分の経験を活かして、光陵の環境美化に務めるのはいかがですか？私などは無芸です。草むしり、修理のお手伝いなどかな、と思っています。皆様とともにささやかなホームカミングデーを楽しみたいと思っております。

光陵50周年。次々に夢がひろがります。本当にありがとうございます。

## 母校がつなく、世代をこえた絆

事務局長 萬 紗帆 (46期)



「来年光陵は50周年なんだよ」と光陵会で言われた時、まったくピンと来ませんでした。自分が46期生であることを思えば想像できたはずのことですが、こうしたことは意識していないと気づかないもの。多くの同級生はもちろん、私自身も気づいていないうちの一人でした。卒業してからも、光陵会の活動で何度も足を運んでいる母校。きれいとはお世辞にも言えない校舎ですが、その分たくさん思い出がたまっています。校舎はおさがり、後輩に大切に引き継ぎたい。卒業前にみんなで大掃除したことを今でも覚えています。そうした想いのバトンが50年続いたと思うと感慨深いです。

そんな想いを巡らせつつ、11月に行われた記念式典・祝賀会に参加させていただきました。月日の流れは早く、私が3年生の頃、初々しく黒の制服を身にまとっていた後輩たちが素敵なお上級生になっていました。それだけではありません。どの学年もしっかりとした受け答えで、話を聞いて回ったこちらがドキドキしてしまいました。ひいき目と言われてしまうかもしれませんが、さすが光陵生と言いたくなりました。

また、記念式典・祝賀会にあれだけたくさんの方が来るのは、光陵が愛されている学校だからなんだと改めて実感しました。演奏をしてくださった5期の波木井賢さんからも、司会を務めてくださった10期の増田隆生さんからも光陵愛が感じられました。もちろん私も光陵が大好きな一人です。卒業した今でも光陵生とは頻りに会いますし、自分にとって大切な相談は光陵生にしています。卒業した今だからこそ、光陵で出会った人たちがいかに素敵なお人たちだったかを思い知らされます。光陵生はまじめで本当に心の優しい人たちの集まりです。大学という新しい環境に身を置いてより一層、そのような友人と出会えた光陵という場所にありがたみを感じるのです。自分がそうであるように、あの会場にいた光陵生、未来の光陵生全員が卒業した時そのように感じてくれたら嬉しいですね。

そのために私は光陵会の一員としてできる限りのことをしたいと考えています。現役生に「みんなの先輩はすごいんだ」と教えてあげたい。先輩方に「変わらない伝統を胸に後輩たちは頑張っています」と伝えたい。光陵会事務局をそんな橋渡しのような存在にしたいのです。卒業生・現役生も関係ない、光陵生みんなが光陵をずっと愛せるように光陵会はあるのですから。

最後になりましたが、同窓会会報『ごんた坂』21号を発行するにあたってご協力いただいたすべての方々へ感謝申し上げます。この会報が光陵の歴史を紡ぐ一助となりますことを心より願っております。

# 平成28年度 光陵会総会・懇親会のご案内

● **総会** 平成28年6月4日(土)  
14:00～(13:30より受付)

場所：光陵高校第一視聴覚室  
(横浜市保土ヶ谷区権太坂1-7-1)

会費：無料

※上履きは各自でご持参ください。

※お車でのご来場はご遠慮ください。懇親会会場までの交通手段は光陵会でご用意します。

※校舎内の見学も可能です。お早めのご来場をお勧めします。

● **懇親会** 同日17:30～(17:00より受付)

場所：ワークピア横浜(横浜市中区山下町24-1)

会費：一般料金 ..... 8,000円  
特別料金(現旧職員) ..... 5,000円  
(ご夫婦) ..... 12,000円  
(学生) ..... 1,000円

※特別料金(ご夫婦)はパートナーが光陵高校の卒業生でなくても結構です。

## ～特別講演～

### 近づく“黒船”バカロレア

—教育の「開国」を前に、光陵生は?—

講師

坪谷ニューエル郁子(坪谷郁子)氏

(8期 東京インターナショナルスクール理事長)



略歴

イリノイ州立西イリノイ大学修了、早稲田大学卒。1995年、東京インターナショナルスクールを設立。2012年、国際バカロレア機構アジア太平洋地区委員会の委員に就任。文部科学省とともに、教育の国際化の切り札となる国際バカロレアの普及に取り組んでいる。

講演内容

「国際バカロレア」ってなに？

グローバル化が進む現代、小学校での英語教育も一部では始まっています。日本の英語教育、そして教育そのものはどこに向かおうとしているのか? 「心やさしき社会のリーダー」をめざす光陵生はどんな立ち位置にいるべきなのか? 昨年の『朝日新聞』フロントランナーにも取り上げられた坪谷ニューエル郁子さん(8期)に、選択肢の一つとしての「国際バカロレア」についてお話を伺います。

## ワークピア横浜にて懇親会を開催!!

今年度もワークピア横浜にて懇親会を開催いたします。総会からご参加いただく方には、懇親会会場まで交通手段をご用意させていただきます。



みなとみらい線	日本大通り駅3番出口	徒歩 5分
J R根岸線	関内駅南口	徒歩15分
J R根岸線	石川町駅北口	徒歩13分
横浜市営バス	26系統 大棧橋下車 2,8,20,58,109系統 芸術劇場・NHK前下車	

※ご不明な点などございましたら、光陵会ホームページまたは下記メールアドレスまでご連絡ください。

URL : <http://koryokai.jp/> MAIL : [staff@koryokai.jp](mailto:staff@koryokai.jp)

お手数ではございますが、ご都合のほどを同封のハガキにて5月20日(金)までにお知らせください。また、当日の飛び込み参加も歓迎いたします。ぜひお越し下さい。その場合には、上記のメールアドレスまでご連絡いただければ幸いです。

## 8期、18期、28期、38期(卒業アニバーサリー期)の皆様へ

今年卒業40年、30年、20年、10年を迎えられる8期、18期、28期、38期の皆様には『卒業アニバーサリー期』として特にお集まりいただきたいと考えております。当時担任をされていた先生方にもぜひお声がけをお願いいたします。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

## 出席予定者のホームページ掲載について

今年度より、総会・懇親会の出席予定者を光陵会ホームページに掲載いたします(光陵会HP : <http://koryokai.jp/>)。イニシャルや匿名でも対応しております。返信の際、氏名掲載の可否のご記入をお願いいたします。

なお、出席予定者は随時更新いたしますが、返信のタイミングによって掲載が間に合わない場合もございます。当日の飛び込みも歓迎しておりますので、掲載に関係なくぜひご参加ください。

## 同窓生向けSNSのお知らせ

卒業後の交流の場として同窓生向けのSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせは下記へお願いいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

URL : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>  
MAIL : [koryo-kai-request@koryo.gr.jp](mailto:koryo-kai-request@koryo.gr.jp)  
運営: 光陵会メーリングリスト(koryo.gr.jp)

## 50周年記念事業の報告と記念誌のご案内

昨年11月24日、光陵高校創立50周年を記念する式典（会場：神奈川県民ホール）、ならびに祝賀会（会場：ホテルニューグランド ペリー来航の間）が行われました。ここではその概要と様子をご報告いたします。

### 一 記念式典プログラム

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 開式の言葉                    | 6. PTA会長挨拶    |
| 2. 国歌斉唱                     | 7. 来賓祝辞       |
| 3. 創立50周年記念事業<br>実行委員会委員長挨拶 | 8. 生徒会長挨拶     |
| 4. 校長挨拶                     | 9. 校歌（光陵高校の歌） |
| 5. 光陵会会長挨拶                  | 10. 閉式の言葉     |

### 一 記念演奏会プログラム

曲 目：[Dialogue-対話] —50周年のために特別に作曲

演奏者：波木井賢氏（5期）

菊地裕美氏

クルターク・ジュニア氏

光陵高校弦楽部



記念演奏会 美しいハーモニーが会場に響きました

### 光陵高校創立50周年記念式典・記念演奏会

記念式典の司会は、スポーツ実況を中心にアナウンサーとして活躍された10期 増田隆生さんと、現役生代表の49期 高瀬茉莉華さんのお二人が務められました。

式典では、元応援団で光陵会会長の太田秀和さんによる会場全体へのエールや、校内コンペで選ばれた光陵高校のマスコットキャラクター「ごんたん」のお披露目などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

式典後の記念演奏会は、世界的ヴィオラ奏者の5期 波木井賢さんに加え、波木井さんの奥様でヴァイオリニストの菊地裕美さん、さらにお二人との親交が深い作曲家のジョルジュ・クルタークさんの息子であり、シンセサイザー奏者のクルターク・ジュニアさんを迎え行われました。

曲目は、クルターク親子の合作「Dialogue-対話」。この日のために特別に作曲されたものでした。ほかにもクラシックの名曲をご披露いただくなど、美しいメロディが会場を包み込みました。演奏会の最後には、弦楽部の生徒たちも加わり、その演奏はまさに50周年にふさわしい卒業生と現役生のコラボレーションとなりました。

### 祝賀会

同日18時からは祝賀会が行われました。司会は、元TVKアナウンサーで、現フリーアナウンサーの9期 原良枝さんが務められました。

多くの卒業生や旧職員、元校長をはじめ、波木井夫妻やクルタークさんも出席してくださいました。終始笑顔や笑い声が絶えない和やかな雰囲気、皆様楽しく過ごされていました。最後の校歌と応援歌の合唱には波木井さんのヴィオラも加わり、会場の一体感とともに祝賀会は幕を閉じました。

## 50周年記念誌 2016年3月完成

記念式典、祝賀会とならび50周年記念事業の目玉となっていた記念誌が今年3月、完成いたしました。

記念式典、祝賀会の報告はもちろんのこと、特集記事には光陵会会長太田秀和さんと女優眞野あずささんの対談のほか、世界的に有名な波木井賢さんや三宅純さんのインタビューを掲載しております。さらに、座談会や校歌の裏話、一桁期から40期代まで各界でご活躍中の卒業生の寄稿など、ここでしか読めない盛りだくさんの内容です。

約250ページの誌面には、写真も豊富に掲載され、光陵草創期から現在に至るまでの歴史、魅力が視覚的にも楽しめる記念誌となっております。

なお、記念誌は販売を行わないため、ご希望の方は創立50周年記念事業への寄付を5口以上（1口2,000円）賜りますようお願いいたします。振込先は右記をご確認ください。

また、2月までに5口以上の寄付をいただきました方には、すでに発送を終えております。お問い合わせ、ご質問などございましたら、光陵50周年記念誌部会

<koryo50th@googlegroups.com>までご連絡ください。

最後になりましたが、このたびの記念誌発刊にあたり、ご協力いただきました光陵会会員の皆様、ならびに光陵高校教職員の皆様、PTAおよびPTA・OB会の皆様、神奈川新聞社の皆様に、この場を借りて感謝申し上げます。

### 〈50周年記念事業 振込先〉

同封の振込用紙の口座とは異なりますのでご注意ください。  
同封の振込用紙は会報発行協力金のものです(8ページ参照)。

ゆうちょ銀行

店名:〇二九店

口座種別:郵便振替口座

口座番号:00240-8-83416

口座名義:光陵会

寄付の詳細は50周年記念事業ホームページ

<[http://koryokai.jp/koryo\\_50th/](http://koryokai.jp/koryo_50th/)>にも掲載しております。

# 50周年記念式典・祝賀会

## 光陵高校誕生から半世紀

光陵高校は昨年4月20日に創立50周年を迎え、記念式典・記念祝賀会が昨年11月24日に行われました。私たち光陵会事務局は、式典の舞台裏や、現役生から見た当日の様子に迫るべく、ご参加された方々へのインタビューを行いました。このたび、残念ながらお越しただけなかった方はもちろん、ご来場いただいた方もぜひお楽しみください。

## 記念式典の幕開け

### 記念式典の幕開け —司会者二人は世代を越えて—

式典では、スポーツ実況を中心に活躍されている日本テレビの10期 増田隆生さんと、先生の後押しもあり引き受けられたという演劇部の49期 高瀬茉莉華さんが司会を務められました。式典開始まではざわついていた会場も、増田さんの第一声をきっかけに、厳かな雰囲気へと様変わりしました。

増田さんにお話を伺ったところ、この日のために開校当時の出来事など、様々な情報を事前に収集されていたそうです。当日は集められた情報をもとにした円滑な司会進行はもちろんのこと、時に話題を即興で広げられる場面もあるなど、まさにプロフェッショナルと呼ぶにふさわしい司会ぶりに圧倒されてしまいました。

もう一人の司会、高瀬さんは増田さんに負けないくらい堂々とした様子で司会を務められていました。プロである増田さんと一緒に司会進行していくことについて、初めは緊張や不安を感じていたそうですが、光陵高校という共通の話題を重ねるうちに、とても親近感を抱かれたそうです。式典の終わりには、大先輩と共にこの司会進行を成し遂げる大変貴重な経験ができて良かったと笑顔で答えてくれました。

お二人の司会の様子から、先輩に付いていこうとする後輩の一所懸命さや、そんな後輩をしっかり支えようとする先輩の優しさを感じました。増田さんと高瀬さんのように期の離れた先輩と後輩が協力して一つの



高瀬さん(写真左)と増田さん(同右)の見事な司会

ことを成し遂げる機会はなかなかありません。50周年記念式典がこのお二人をつなぐ架け橋となりました。

## 記念演奏会

### ～5期 波木井賢さんと光陵弦楽部のハーモニー～

式典後には5期 波木井賢さんなど3名による記念演奏会があり、そのなかで光陵高校弦楽部との共演が実現しました。

この演奏会にあたり、弦楽部は事前に波木井さんとの合同練習を行ってきました。部員たちはその時、プロによる生演奏を初めて聴き、音の響きや表現など、何から何まで自分たちとは違う演奏に驚嘆したそうです。技術の高さはもちろんのこと、波木井さんの削り出す音色に圧倒され、音楽に対する波木井さんの思いや価値観が伝わってきたと振り返っていました。

本番を控える弦楽部員を直撃してみると、大舞台でたくさんの方が観ているため緊張してはいるものの、演奏するのがとても楽しみだと答えてくれました。

そして迎えた本番は、まさに光陵高校の50周年を彩る華やかな舞台となりました。世界で活躍されている波木井さんとの共演は、その場にいた私たち全員を魅了するものでした。

演奏していた部員にとっても、本当にあっという間の時間だったそうです。無事に演奏を終えることができ良かったと安堵している様子も見られました。演奏後、波木井さんと奥様である菊地裕美さんは舞台袖で部員たちに次のような言葉を贈りました。

「相手に伝えること、そして楽譜を弾くのではなく一つの物語を弾くことに意識をして、素敵な音楽を奏でてください。」

ご夫妻の熱い言葉に、部員たちは目を輝かせていました。普段の学校生活では味わうことのできない、思い出に残るひとときになったのではないのでしょうか。



演奏会を通じて後輩たちに思いを届けた波木井さん

## 現役生が抱く、光陵への思い

### ～49期生徒会長と50期生の声～

式典には現役生も積極的に参加していました。その一人、生徒会長として挨拶をした49期 日野涼香さんは大勢の方々に前にしても萎縮することなく、壇上で立派にお話する姿は、とても凛々しく印象的でした。また、式典では光陵高校のマスコットキャラクターのお披露目がありました。その名も「ごんたん」です。これは、親しみやすい学校にしたいという生徒の想いをもとに、生徒会執行部を中心として作られたものです。「ごんたん」のイラストが紹介されると、会場は微笑ましい雰囲気となりました。

式典での大役について、日野さんは、「50周年というタイミングで生徒代表として式典に参加できることを知った時は嬉しかった」と母校の節目を祝う場に立ち会えた喜びを語っていました。ところで平成27年4月に入学した50期生は、光陵についてどのように感じていたのでしょうか。

実は、入学当時に自分が50期生であることを知っていた生徒は少なかったようで、伝統ある学校の雰囲気から創立50周年を迎えることを実感した生徒もいたそうです。彼らは記念すべき50期生であることについて、素直に嬉しいと感じていると答えてくれました。入学後の光陵に対するイメージを聞いてみると、「“明るい”真面目」という声が多くあがりました。真面目なだけでなく、

行事や部活に打ち込み、クラスの仲間や先輩と様々な話をする、勉強だけにとらわれない高校生活が、そうした光陵のイメージを作っているのでしょう。

式典当日は50期生も式典の雰囲気をととても楽しんでおり、なかでも太田会長の「フレー！フレー！光陵！」というエールが印象的だったと答えた生徒が多くいました。期の離れた先輩の熱い

エールは、彼らの心へしっかりと届いていました。

今でも、多くの現役生が昔から使われている校舎を大切に、校内で人とすれ違う際には積極的に挨拶をします。これは光陵高校の伝統です。現役生の彼ら・彼女らは、代々受け継がれてきた伝統を次の世代に引き継いでいだけでなく、新しい光陵を創っているとしています。今後の光陵生の活躍に期待が高まります！

## 祝賀会

### ～ 50周年を迎えて 卒業生の心境は～

祝賀会に参加されたOB・OGにインタビューしてみました。



卒業生の一体感に包まれた祝賀会

#### 質問

①50周年を迎えてどう感じたか ②光陵生で良かったと思うこと ③学生に向けてメッセージ

- ①自分自身を振り返ることができ、やっと卒業できた感じがする。
- ②面倒をみてくれる先輩・後輩がいたこと。
- ③受けた思いやりを返すことが大事。

22期 男性

- ①50年で活躍した先輩が増え、ネットワークが拡大し、人材の厚みが増した。
- ②部活と勉強を両立していたこと。自主自立の精神があったこと。
- ③困ったら先輩に頼る。それだけの人材がいる。

30期 男性

- ①あっという間。30周年の時も出席して、それからの20年間を振り返る時間。30周年の時と比べて華やかだけど時間が経ったさびしさもある。人材が豊富になった。
- ②のびのびとしていて、好きなことができ、受験勉強や部活も満足にできたこと。
- ③勉強も大事だけど友だちをつくる。自分は2、3年生の同級生と結婚。そういうコトもある。

10期 女性

- ③チャラチャラしていない。まじめ。都会にありながら…。やるべきことを守ってやりながら、勉強だけでなく行事などにも取り組んでいる。「怒」の心を持っている。「怒」とは人への思いやり、優しさ。「怒」の心をこれからも持つこと。それが「人間力」。光陵はやっぱり良い学校。様々な取り組みは10年先取りしている。

元職員

- ①いつも仲間という。年の差を感じない。
- ②これだけの人と知り合えること。
- ③なんでもチャレンジしてください。それはいつか自分だけでなく、人に分けることができる。

9期 女性

- ①50周年の時に教壇に立てて本当に良かった。
- ②先生方が良くて楽しかったこと。自分たちをすごく大人に見てくれ、子ども扱いせず、対等に話してくれたこと。
- ③もっと欲を出せ!! 自信を持て!! もっと頑張れる。

現職員7期 男性

## まとめ

我々卒業生は、50期生と直接関わることはなかなかありません。しかし、インタビューから分かったことは、卒業後も先輩としての姿を、後輩は変わらずに見てくれているということです。先輩の姿を見て成長しようとする後輩がたくさんいるからこそ、伝統が引き継がれるのだと感じました。

記念式典は現役生・卒業生・職員・PTAを問わず、今まで光陵に関わった全員にとって素晴らしい式典となりました。また、大先輩の素敵な演奏を聴き、大勢で校歌を合唱する機会はめったにないことであり、入学して間もなかった50期生にとっても貴重な経験になったようです。長いようであっという間に終わってしまう3年間、現役生には光陵でのつながりを大切に、存分に楽しんでもらいたいです。そして私たち先輩は、後輩たちを温かく見守っていきましょう。(47期 戸田岳、橋本美沙)

平成27年度  
総会報告

昨年の6月13日(土)に、平成27年度総会を光陵高校第一視聴覚室にて開催いたしました。議事内容はすべてにおいて賛成多数で承認されましたことをご報告いたします。議事項目は以下の通りです。

- 一、平成26年度決算報告(ごんた坂20号3ページ参照)
  - 二、平成27年度予算審議(同上)
  - 三、平成26年度役員解任(同上)
  - 四、平成27年度役員承認(同上)
- また、以下について活動報告を行いました。
- 一、50周年記念事業に関する報告
  - 二、名簿発刊事業報告
  - 三、校歌祭事業報告
- (46期 木村将太郎)

寄贈報告

毎年、光陵会は光陵高校に物品の寄贈を行っております。平成27年度も学校側に寄贈品の要望を伺いましたが、近々校舎の耐震工事を予定していることと、50周年記念事業を行うことから、寄贈品の検討が困難であるため、今回は寄贈を見送ることになりました。今後も有意義な寄贈が行えるように継続して取り組んでいきますので、ご意見・ご要望がございましたら、同封のハガキにてお寄せいただければ幸いです。

(46期 村越萌香)

光陵会賛助金報告

光陵会では会員の皆さまから光陵会運営の賛助金を募っております。昨年度は50周年記念事業の支援のため、賛助金は50周年寄付金に充当いたしました。皆様の温かいお心遣いに深く感謝いたしますとともに、同封の芳名録にてご報告申し上げます。今後も引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

会計報告

平成27年度決算  
(15/03/01 ~ 16/02/29)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥2,780,000
懇親会会費	¥388,000
賛助金	¥2,553
名簿売上	¥7,000
50周年寄付金	¥3,403,392
その他	¥2,683
前年度繰越金	¥21,728,779
合計	¥28,312,407

(支出の部)

通信費	¥147,650
印刷費	¥23,823
事務費	¥9,971
運営費	¥477,036
交通費	¥145,379
懇親会費	¥446,069
H P 運用費	¥57,798
会報費	¥1,999,461
校歌祭費	¥70,218
光陵祭費	¥63,889
高校寄付費	¥0
設備予備費	¥0
50周年準備費	¥8,320,513
使途不明金	¥273,108
合計	¥12,034,915
収支差額	¥16,277,492
前年度比較	¥-5,451,287

平成28年度予算案  
(16/03/01 ~ 17/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,200,000
懇親会会費	¥600,000
50周年寄付金	¥500,000
前年度繰越金	¥16,277,492
合計	¥20,577,492

(支出の部)

通信費	¥200,000
印刷費	¥30,000
事務費	¥30,000
運営費	¥700,000
交通費	¥200,000
懇親会費	¥600,000
H P 運用費	¥50,000
会報費	¥500,000
校歌祭費	¥80,000
光陵祭費	¥80,000
高校寄付費	¥200,000
設備予備費	¥150,000
合計	¥2,820,000
収支差額	¥17,757,492
前年度比較	¥1,480,000

平成27年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和(2期)
副会長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期) 古藤田謙治(5期) 中濱こずえ(9期)
理事	藤原 真人(22期) 藤原 直人(31期) 高橋 芳昌(33期) 佐藤 愛美(36期) 増田 祐徳(36期) 金子 周平(38期) 増田 悠子(38期) 柘植 貴之(41期) 佐藤 楓(42期) 菊名 直人(42期) 内山 唯(43期)
会計	平井 裕夏(42期) 佐藤恒太郎(45期) 長尾沙津季(46期) 小谷津美咲(47期)
監査	上原 武(25期) 柿崎 祐一(25期) 小西 直子(35期) 播口 陽介(36期)
事務局長	萬 紗帆(46期)
副局長	山本 航介(43期) 山下裕太郎(45期) 安藤えり子(45期) 平山 竣(46期) 戸田 岳(47期)
書記	村上 将(45期) 村越 萌香(46期) 熊澤 彩花(47期) 鈴木 淳平(47期)

平成28年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和(2期)
副会長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期) 中濱こずえ(9期)
理事	藤原 真人(22期) 藤原 直人(31期) 高橋 芳昌(33期) 増田 祐徳(36期) 金子 周平(38期) 増田 悠子(38期) 柘植 貴之(41期) 阿南紗智子(41期) 佐藤 楓(42期)
会計	菊名 直人(42期) 長尾沙津季(46期) 小谷津美咲(47期) 千々輪晃斗(48期)
監査	上原 武(25期) 柿崎 祐一(25期) 小西 直子(35期) 播口 陽介(36期) 山本 航介(43期)
事務局長	飯田 雅大(47期)
副局長	村上 将(45期) 萬 紗帆(46期) 戸田 岳(47期) 橋本 美沙(47期) 町永 彩音(48期)
書記	安藤えり子(45期) 熊澤 彩花(47期) 鈴木 淳平(47期) 二見 慧(48期)

### 光陵卒業生人材バンク登録のお願い

光陵高校では、10年前から「キャリアガイダンス」を継続的に実施しています。様々な職業の卒業生が講師となって、これまで経験してきた仕事や進路選択の理由などについて現役生にお話しし、将来を考える参考にしてもらおうというプログラムです。今年も3月12日に開催し、2期生から42期生までの19名の卒業生が参加しました。光陵会は、講師をしていただく卒業生を光陵高校にご紹介する形で協力しています。このプログラムは、光陵高校において大変有意義であると評価されており、今後とも継続する予定です。趣旨に賛同し、講師として参加していただける方は、是非「光陵高校内光陵会」宛(住所:保土ヶ谷区権太坂1-7-1)に書簡を出していただくか、大道正夫(4期生)宛(omichim@nifty.com)にご連絡下さい。お待ちしております。

## 平成27年3月/平成28年3月(※)合格状況

※平成28年3月については速報人数

### I. 全体的な状況

#### (1)平成27年3月 卒業生

卒業生数	280
就職者数	0
進学希望者数	280
同士の割合	100.0%
合格者実数	233
同士の割合	83.2%

#### (2)過年度卒業生

延合格者数	222
-------	-----

### II. 進路状況(合格者数)

#### (1)国公立大学

学校名	平成28年		平成27年		平成26年
	総数	現役	総数	現役	
北海道大学			2	1	1
北見工業大学			1		
弘前大学(医)	1				
岩手大学	1	1			
東北大学			1	1	1
東北大学(歯)	1				
群馬大学					1
埼玉大学	1		1		
筑波大学	1		2	2	1
千葉大学			1	1	2
お茶の水女子大学			1	1	
一橋大学			1		
東京大学	2	1	1	1	
東京海洋大学	3		1	1	1
東京芸術大学			1	1	
東京外国語大学	1	1	1	1	
東京学芸大学	4	2	3	3	2
東京工業大学	2	1	1	1	4
東京農工大学	2	1	1		
電気通信大学			1	1	1
横浜国立大学	9	3	11	9	9
静岡大学			1	1	2
山梨大学			1	1	
信州大学			2	1	
三重大学	1		1	1	
名古屋大学					1
京都工芸繊維大学					1
神戸大学					1

#### (2)大専校

学校名	平成28年(3/25時点)		平成27年		平成26年
	総数	現役	総数	現役	
防衛大専校	1		1	1	
防衛医科大専校	1	1			
水産大専校	1				
総計	3	1	1	1	0

#### (3)私立大学

学校名	平成28年		平成27年		平成26年
	総数	現役	総数	現役	
岩手医科大学	1				
東北医科薬科大学(医)	2				
国際医療福祉大学	2	2	3	3	1
尚美学園大学			1	1	
日本医療科学大学	2	2			
文教大学	1	1	4	2	
千葉科学大学			2	2	
城西国際大学					1
青山学院大学	34	27	29	27	57
桜美林大学	2	2	2	2	3
大妻女子大学	5	2	1		
学習院大学	9	8	6	5	11
学習院女子大学	1	1	1	1	
北里大学	11	8	14	14	5
北里大学(医)	2				
共立女子大学	4	4	1	1	
杏林大学	2	2	5	5	
杏林大学(医)	1				
慶應義塾大学	13	9	16	11	22

学校名	平成28年		平成27年		平成26年
	総数	現役	総数	現役	
工学院大学	6	5	2	2	1
國學院大学	17	17	17	14	21
国際基督教大学	1		1	1	
国士館大学	3	3	3	3	2
駒澤大学	18	16	13	11	14
相模女子大学	1				
実践女子大学	3	2	4	3	2
芝浦工業大学	13	6	8	7	12
順天堂大学	6	6	4	4	1
上智大学	14	10	23	16	22
昭和大学			5	5	1
昭和女子大学	5	4	3	3	2
昭和薬科大学			3	3	
成蹊大学	1	1	9	6	8
成城大学	7	5	3	3	11
聖心女子大学	1				
清泉女子大学			1	1	
聖路加看護大学					1
専修大学	18	17	21	19	27
創価大学					2
拓殖大学			2	2	
玉川大学	5	3	11	8	5
多摩大学			1		
多摩美術大学	6	6			
中央大学	49	40	48	42	44
津田塾大学	1	1			1
帝京大学	4	4	5	3	2
帝京平成大学	4	4			1
東海大学	11	13	7	6	7
東海大学(医)	1				
東京医科大学	1	1			
東京医療保健大学	3	3	1	1	1
東京家政大学			3	3	
東京経済大学	2	2			
東京工科大学	4	4	10	10	3
東京工芸大学	2	2			3
東京女子大学	6	2			2
東京造形大学	2	2			
東京電機大学	3	2	4	4	2
東京都立大学	13	8	19	10	15
東京農業大学	4	4	23	16	3
東京薬科大学	1		5	5	
東京理科大学	22	12	16	14	20
桐朋学園大学	1	1			

学校名	平成28年		平成27年		平成26年
	総数	現役	総数	現役	
東洋大学	9	9	25	21	16
東邦大学	3	2			
日本大学	70	52	53	46	49
日本大学(医)	1				
日本女子大学	5	4	8	6	11
日本赤十字看護大学	6	6	1	1	1
日本体育大学	1	1	1	1	
文化学園大学	1	1			
法政大学	56	45	61	49	46
星薬科大学	1	1	3	3	
武蔵大学	1	1			
武蔵野大学	3	3	2	2	4
武蔵野美術大学	7	7			1
明治大学	80	54	76	60	70
明治学院大学	44	41	36	31	34
明治薬科大学	1	1	3	3	1
明星大学	1	1	3		
目白大学	2	2	2	1	
立教大学	28	26	30	24	50
立正大学	1	1	4	4	1
早稲田大学	43	34	36	30	58
麻布大学			2	2	
神奈川大学	28	23	18	16	15
鎌倉女子大学			3	3	2
関東学院大学	3	3	8	7	3
産業能率大学	3	3	8	8	7
相模女子大学	1	1			3
東洋英和女学院大学	3	3	6	6	1
フェリス学院大学	5	5	7	7	4
横浜薬科大学	1	1	1	1	3
横浜創英大学					2
女子美術大学	3	3			
中京大学					1
南山大学	1	1			
神戸女子大学					1
同志社女子大学					1
武庫川女子大学					1
近畿大学	1	1			1
立命館大学	1	1			
立命館アジア大学			1	1	
九州保健福祉大学			1	1	
テンプルハワード大学	1	1			
その他	10	6	8	8	14
合計	771	614	763	637	730

## 平成27年度 部活動実績(抜粋)

部活	成績
男子バレー部	高校総体予選ベスト32
野球部	全国高校野球選手権神奈川大会3回戦進出
ダンス部	ダンススタジアム東日本大会 ベストインパクト賞受賞
サッカー部	高校総体ブロック決勝進出、 全国高校サッカー選手権予選ベスト28
体操部	横浜市民大会 平均台・ゆか2位
男子バドミントン部	横浜府夏季大会ベスト8
陸上競技部	高校総体女子砲丸投げ、円盤投げ9位
水泳部	横浜地区高等学校水泳競技大会 男子200個人メドレー6位
スキー部	神奈川県高等学校スキー大会回転2位、 大回転4位 全国高等学校スキー大会出場
吹奏楽部	神奈川吹奏楽コンクール金賞(代表)、 東関東吹奏楽コンクール銅賞
弦楽部	全国高等学校総合文化祭滋賀大会出場

## 教職員異動

### 【平成26年度 離退任者】

氏名	教科等	転出先	氏名	教科等	転出先	氏名	教科等	転出先
重田 宏	副校長	大和高校	神保 克朗	英語	大和高校	早川 達也	国語(非常勤)	横浜栄高校
本郷 宏一	教頭	横浜国際高校	坂井田由紀子	国語(再任用)	横浜翠嵐高校	横内あゆみ	国語(非常勤)	
西村 和之	地歴公民	三浦臨海高校	内藤 義夫	数学(再任用)	瀬谷高校	中出フヂ子	地歴公民(非常勤)	
野中 幹子	家庭	教育局総務室	井出 信男	数学(再任用)	横須賀大津高校	小林 基宏	理科(非常勤)	
榎本 一成	数学	磯子高校	相田 正彦	保健体育(再任用)	岸根高校	高梨 征雄	理科(非常勤)	
山本 昌寿	数学	桜陽高校	土井 優芳	国語(臨任)	横浜翠嵐高校	城所 由佳	事務	生命の星地球博物館
瀧口 公夫	理科(再任用)	柏陽高校	久保 洋平	保健体育(臨任)	希望が丘高校	中山 聡	技能員(非常勤)	磯子高校
石川たける	美術	大楠高校	原尾 祥子	音楽(臨任)				

### 【平成27年度 新着任者】

氏名	教科等	転入元	氏名	教科等	転入元	氏名	教科等	転入元
小島 淳子	副校長	横浜緑ヶ丘高校	高橋 一郎	数学	厚木清南高校	田中 広美	国語(非常勤)	
小林 芳明	教頭	弥栄高校	込山 隆	数学	新採用	曾我部貴之	数学(非常勤)	
三ツ堀清志	音楽	清陵総合高校	長山 翼	数学(臨任)		大谷 俊哉	理科(非常勤)	
清水 理佐	国語	綾瀬高校	塩田 哲夫	理科(再任用)	平塚江南高校	江川 滋	理科(非常勤)	
太田三枝子	国語(臨任)	大磯高校	城所 富夫	保健体育(再任用)	横浜栄高校	新垣 昇梧	保健体育(非常勤)	
長内 悦朗	地歴公民(臨任)	綾瀬西高校	青木 敦	美術	鎌倉高校	中島 歩美	事務	横浜給与事務所
中西 克也	地歴公民(再任用)	霧が丘高校	清水 雄	英語	新採用	新堀百合子	事務	二俣川看護福祉高校
星野 清寛	地歴公民(再任用)	川和高校	桐原 文代	家庭	保土ヶ谷高校	伊東 隆	技能員(非常勤)	

### 会報発行協力金のお願い

本会報の発行費用は平成21年より会報の発行を名簿委託業者であります(株)サルトと共同事業とした独立採算制とし、会員の皆様にはその会報発行費用を賛助協力金として1口2,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知のうえ同封させていただきます。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため力を尽くしてまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

※ 会報発行協力金は発行費用を上回ります賛助協力金をいただけた場合、その8割が光陵会への賛助となります。

※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアを利用される場合は一律2,000円となりますのでご注意ください。

## 卒業生からの便り 2016

昨年の会報発行後に事務局へ寄せられたコメントの一部をご紹介します。

- 教室に子犬がいたことがありました。先生も見逃してくれていたのでしょう。クラスだけで作成した卒業アルバムに写真が残っています。(5期 女性)
- 座談会の中の「卒業生同士での結婚！」に思わずニヤリ。うちも夫はとなりのとなりのクラスの男子です。(13期 女性)
- 光陵を卒業した息子と母校の話をする…幸せな時間です。50周年おめでとう。(16期 女性)
- この4月、職場に配属された新入社員は光陵OGでした。同じ担当になり、先輩と後輩の間柄で仕事しています。なんだか不思議。(31期 女性)
- 同業者の先輩が光陵卒とわかった時とても親近感を持ちました。不思議ですね。(21期 女性)
- 実家に帰り、久々に体育祭のビデオを見た。応援団の糸乱れぬ動きに感動！久々に見に行きたいなー。(39期 女性)
- 旧職員として、光陵高校のありようを今後も見守りたいと思います。(16代校長 伊藤真人)
- 母校の歴史・現在・未来について楽しく語れることが当たり前であるような時代と社会を私たち皆の力でこれからも存続させていきましょう。(12期 男性)
- 中年のうちに同窓会をしたいですね。(19期 男性)
- 野球部・川村監督期待してます。めざせBEST16！(19期 女性)
- 若い会員の皆さんはぜひいろいろな経験をしてたくさんの人と会ってください。(17期 女性)
- 母の介護のため、たびたび横浜に行くようになりました。駅までの道、あの頃を思い出しています。(13期 女性)
- 同期の波木井氏の記事、たいへん興味深く拝見しました。(5期 女性)
- OBとの交流(キャリアガイダンスなど)はとても良い試みだと思います。(30期 女性)
- 去年、今年と22期の同窓会が開催され、久しぶりの再会。楽しいひとときでした。(22期 女性)
- 今でも光陵の校歌は歌えます。あの混合四部合唱はメロディー、歌詞ともに日本一と思っています。(15期 女性)

### ご意見募集のお知らせ

光陵会では会員皆様のご意見・ご感想を、同封の総会懇親会出欠はがきにて募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読み思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。会報にてご紹介させていただきます。

### 7期生同期会のお知らせ

開催日時：8月14日(日) 16:00開宴  
場 所：新横浜プリンスホテル  
会 費：7,000円(予定)  
代表幹事：飯牟礼成義 090-5402-5549  
皆さまお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

### ♪青春かながわ校歌祭のお知らせ♪

第11回目を迎える青春かながわ校歌祭、光陵会は今年も参加します。例年、光陵高校の音楽室などをお借りして練習会を行っています。校歌祭のみの参加も歓迎します。練習日予定や参加費(楽譜印刷代など昨年は500円)など、詳細はホームページなどでお知らせします。皆さん、懐かしい光陵高校校歌と一緒に歌いませんか。多くの方のご参加をお待ちしております。お問い合わせは光陵会事務局(staff@koryokai.jp)まで。

日時：平成28年10月15日(土)

会場：神奈川県立青少年センター(横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)

主催：かながわ校歌振興会

共催：神奈川県教育委員会

### 会員名簿の取扱いについて

光陵会では平成27年9月に会員名簿を発刊いたしました。昨今光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございませんので、内容を確認のうえ、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。光陵会では第三者に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆さまも名簿の取扱いには十分ご注意の上、外部への流出がないよう、ご配慮ください。会員の皆様のご理解をいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局よりお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、ご入金の確認後1ヵ月程度のお時間をいただいております。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売はお一人様1冊までとなります。

宛先：「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

### あ と が き

若葉の萌え立つ季節を迎え、今年もこの会報をお届けできることを、大変嬉しく思います。『ごんた坂』21号、いかがでしたか。

昨年、光陵高校は50周年を迎えました。この素晴らしい歴史を築くことができたのは、卒業生の皆様、歴代の先生方、保護者の方々、地域の方々など、光陵高校に関わる全ての方々を支えていただいたおかげです。自分の母校がこんなにも多くの人から愛されていることを私は誇りに思います。

光陵高校はここからまた新たな一歩を踏み出し、さらなる輝かしい歴史を刻んでいくことでしょう。会員の皆様には、今後も成長していく光陵高校の姿を暖かく見守っていただけたら幸いです。

最後になりましたが、会報を発行するにあたりご協力いただきました皆様には、心より感謝を申し上げます。日々事務局は、会員の皆様にいつまでも光陵高校を身近に感じていただけるよう、これからも精一杯活動してまいります。皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りしつつ、あとがきに代えさせていただきます。(事務局一同 文・47期 熊澤彩花)